

著者紹介

荒木 大 (正会員)

(株) インターデザイン・テクノロジー 技術開発グループ部長。1988年大阪大学大学院通信工学専攻博士前期課程修了。同年(株)東芝入社。1997年大阪大学大学院情報システム工学専攻博士後期課程修了。1997～99年カリフォルニア大学アーバイン校客員研究員。2001年より現職。工学博士。システムレベル設計ツールの開発に従事。

石畑 清 (正会員)

1974年東京大学理学部物理学科卒業。東京大学を経て、明治大学理工学部助教授。言語を中心として、プログラミング全般に興味を持つ。

今井 正治 (正会員)

1974年名古屋大学・工・電気卒業。1979年同大学院博士後期課程修了(工博)。同年豊橋技術科学大学に奉職。1994年同教授。1996年より大阪大学教授。現在、同大学院情報科学研究科に所属。IEEE、ACM、電子情報通信学会各会員。

宇夫陽次朗

(株) インターネットイニシアティブ技術研究所所属。Auto-ID Labs Japan 研究開発担当副所長。実世界での情報認識インフラストラクチャとインターネットアーキテクチャの統合に関する研究に従事。E-mail:yuo@iijlab.net

大塚 正人

1996年名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程修了。同年富士通(株)入社。2000～01年カリフォルニア大学アーバイン校客員研究員。現在は主にハードウェア検証への形式的検証技術の応用に従事。

黒坂 均 (正会員)

1987年早稲田大学理工学研究科修士課程修了。同年NEC(株)入社。2002年よりNECエレクトロニクス(株)。LSI検証システム開発。システムレベル設計の実用化推進に従事。JEITA EDA技術専門委員会SLD研究会主査。共著「システムLSIのすべて」(工業調査会)。共訳「SystemCによるシステム設計」(丸善出版)。

齊藤 博文

三洋電機(株)マテリアル・デバイス技術開発センター主任研究員。1987年神戸大学大学院理学研究科修士課程修了。1990年大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了。理学博士。同年三洋電機(株)入社。デバイス開発。メモリ設計等に従事の後、2001年よりLSI設計に従事。

芝野 耕司 (正会員)

東京外国語大学情報処理センター長・アジア・アフリカ言語文化研究所教授。ISO/IEC JTC1/SC2委員長。SC32 WG4 (SQL/MM) 主査。JIS X 3005 SQL 原案委員会委員長。情報規格調査会SC32専門委員会委員長。

白井 克彦 (正会員)

1963年早稲田大学理工学部電気工学科卒業。同大学院理工学研究科博士課程を経て、1975年教授。事務システムセンター所長。副総長等を歴任し、2002年同大第15代総長に就任。専攻は知能情報学。

鈴木英之進 (正会員)

昭和63年東京大学工学部卒業。平成5年同大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。同年東京工業大学工学部情報工学科助手。平成8年横浜国立大学工学部電子情報工学科講師を経て、平成9年より同助教授。平成9年度、14年度人工知能学会論文賞受賞。平成15年度会誌編集委員会基礎・理論WG主査。DS-2004

国際会議PC Chair。データマイニング、機械学習など人工知能に関する研究に従事。人工知能学会、AAAI、ACM、IEEE各会員。

竹村 和祥

1995年早稲田大学理工学部電気工学科卒業。1997年同大学院理工学研究科電気工学専攻博士前期課程修了。同年松下電器産業(株)入社。以来、システムLSIのシステムレベル設計・検証技術に関する研究・開発に従事。

橘 昌良 (正会員)

1986年早稲田大学大学院博士後期課程修了(工学博士)。(株)東芝超LSI研究所。(株)東芝セミコンダクター社システムLSI設計統括部を経て、2000年より高知工科大学電子・光システム工学科助教授。IEEE、電子情報通信学会各会員。

塚本 泰隆

1989年神戸大学大学院工学研究科修士課程修了。同年(株)リコー入社。入社以来、LSI設計用の内製CADツール開発と市販ツール導入に従事。現在は動作合成ツールを立ち上げ中。

堂前 清隆

1978年京都生。2001年京都工芸繊維大学工学部卒業。同年(株)インターネットイニシアティブ入社。技術本部企画開発部にてWeb系アプリケーションサービスの調査開発に従事。2004年より同社ソリューションサービス部。

成瀬 誠

1994年東京大学工学部計数工学科卒業。1999年同大学院博士課程修了。博士(工学)。学振RA、東大助手を経て、2002年通信総合研究所(現情報通信研究機構)。情報通信部門超高速フォトニックネットワークグループ主任研究員。

新津 靖

野々垣直浩 (正会員)

2001年早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年(株)東芝入社。現在(株)東芝ソフトウェア技術センターにて組み込み向けオブジェクト指向開発技術とハードウェア/ソフトウェア協調開発技術に関する研究に従事。

廣田 和也

平成7年NTTデータに入社以来、デジタルメディア関係の研究開発に従事。欧州技術センタ勤務を経て、平成15年より米国NTT DATA AgileNetに勤務。主に米国のIT動向調査業務に従事。

ひろのかずお

1963年大阪外国語大学仏語科卒業。大阪市立大学・慶應義塾大学に学ぶ。日本ユニバック(現日本ユニシス)・CSK・情報技術開発(TDI)を経たが、この間、人工知能・認知科学・インターネット分野で広範囲に活動。現在、(株)プロファイル、イー・カルチャー(株)の顧問、NPO デジタル情報産業振興会(ADI2)理事、NPO・CEO 企画担当。

松尾 和洋 (正会員)

東京大学大学院物理学専攻博士課程修了後、University of California, San Diego (UCSD)に留学。富士通入社後は、国際情報社会科学研究所、富士通研究所を経て、現在 Fujitsu Laboratories of America, Inc., Senoir Vice President & College Park 研究所長。理学博士。人工知能学会理事、日本神経回路学会理事、Neural Network 誌 Acting Editor を歴任。Maryland 大学客員教授を兼務。E-mail:kmatsuo@fla.fujitsu.com

安浦 寛人 (正会員)

昭和53年京都大学工学研究科修士課程修了。同大工学部助手、助教授を経て、現在、九州大学大学院システム情報科学研究院情報工学部門教授およびシステムLSI研究センター長。

山岡 正輝 (正会員)

1991年大阪大学大学院工学研究科修了。NTTデータに入社。文書画像処理やネットワーク技術の研究に従事。1992年よりMIT客員研究員。2003年より英国のNTTデータ欧州技術センタ長。博士(工学)。

吉田 紀彦 (正会員)

埼玉大学工学部情報システム工学科教授。昭和56年東京大学大学院修了。(株)三菱総研、九州大学、長崎大学などを経て、平成14年より現職。工学博士。プログラミング方法論、並列分散協調処理などの研究に従事。電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、ACM、IEEE各会員。

E-mail:yoshida@ics.saitama-u.ac.jp

吉永 和弘

1983年九州大学理学部物理学科卒業。同年沖電気工業(株)入社。現在(株)スキル勤務。この間、LSIの設計検証手法の研究開発に従事。旧EIAJでVHDLおよびVerilog標準化WGに、JEITAでSLD研究会にそれぞれ参加。

温 兆祺

香港生。昭和50年に文部省国費留学生として来日。東京大学大学院(修士課程)修了後、東芝総合研究所を経て、メンター・グラフィックス・ジャパン(株)に入社。EDA関連ソフトウェア開発。技術サポートなどを担当。現在に至る。IEEE会員。

E-mail:siu-ki_wan@mentor.com

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、2月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。特集記事「地球シミュレータ」については反響が大きく数多くのご意見・ご感想をお寄せいただきました。

■ 地球シミュレータについては話には聞いたことがありましたが、ものすごい演算能力がある計算機であるくらいの知識しかありませんでした。この記事で大気、海洋、地核などに関する記事を読んで、小学生のころ、「地球の不思議（タイトルはこんな感じだったかな?）」という本を“どきどき”しながら読んだのを思い出しました。しかし、この“どきどき”は情報処理に関するのではないかと、冷めた思いで自分を観察していたりもします。しかし、こんな読み物(?)のような特集も面白いなと感じました。(小野 勉)

■ シミュレータが実際に動いているところはぜひ見てみたいと思いました。きっと、壮観でしょう。その動きそのものもビジュアル化して見せてほしい気もします。(匿名希望)

■ ESの出現が米国等世界的に画期的な影響を与えたことが分かり、大変興味深い内容である。大気・海洋のシミュレーション技術が進展すれば気象予報精度向上、環境問題への適用に一層貢献することでもあり、今後の動向にも着目したい。(匿名希望)

■ 地球の温暖化についてのシミュレーションがなされていることは知っていたものの、本特集にあったような巨大なシステムを構築されその中で推進されていることを初めて知りました。私自身も以前にいくつかの小規模な流通システムの開発に従事したことがありますが、その経験から察しますとシステム、ハードウェア、ソフトウェアの開発には大変なご苦労があったと思います。その意味で開発された方々に敬意を表しますとともに、地球に住む人間にとって何にも勝る研究に今後も期待いたします。(中島豊四郎)

■ 今月号の地球シミュレータはとても見ごたえのある記事ばかりで大変面白かったです。ハードウェア構成からそれを設置する建物の構造まで非常に安全性を重視したつくりになっていることに驚きました。我が社のコンピュータもかくある

べきと思いましたが、そんな予算なんてないだろうな…。

(匿名希望)

■ 地球シミュレータの特集を非常に興味深く読みました。内容も「ハード面」「ソフト面」「運用面」と整理されており、非常に読みやすく理解しやすかったと思います。さまざまな研究の上で構成された全球計算の結果を見てESの意義、有用性を認識することができました。これからどんどん出てくるであろう研究成果を見るのが楽しみにになりました。(青山正人)

■ 地球シミュレータは、特に大気・海洋が興味深かった。ニュースなどでよく流れ、視覚化によるイメージのしやすさを感じていたため、その裏側を知れて面白かった。(江崎浩明)

■ 今回の特集にある地球シミュレータを実際に見る機会があった。まったく壮観な眺めであった。また、世界トップ性能を誇るすばらしい性能に感激した。これからはいかに使いこなすかが重要となってくる。地球を解明するすばらしい成果に期待したい。(匿名希望)

解説記事に対するご意見を紹介します。

■ 「地上デジタル放送の開始にあたって」は全般的な話題を丁寧に取り上げており、非常に参考になりました。

(匿名希望)

■ 地上デジタル放送に関する記事について、興味を持って読ませていただきました。ブロードバンド時代に移行し、さまざまな通信が容易に行われ、流通する時代になっていくのだらうと思いました。一方、現在テレビで流れているCMなどはどんどん消えていくのではないかと感じました。

(匿名希望)

■ 以前DNAコンピュータを少しかじったことがあり、アルゴリズムを色々勉強しましたが、配列をどのように設計しているのかがずっと疑問でした。今回の解説記事を見てかなり疑問が解けました。

(匿名希望)

■ 「ソフトウェア技術者は免許制度にすべきか?」: 今日、ソフトウェアは広範囲かつさまざまな分野で使用され(動作し)ており、ソフトウェアの不具合は社会的問題になることも多々見聞きする。そのためその品質は高レベルのものが要求されている。その意味で「ソフトウェア開発に従事する技術者に免許制度を」というのは理解できるが、現時点におけるソフトウェア開発の特徴からしても、本レポートの報告内容が最も良い回答だと思えます。(中島豊四郎)

連載記事、コラムに対しては次のようなご意見をお寄せいただきました。

■ 連載「スマートタグ」: カラー写真がたくさんあり、読みやすい。もう少しページ数を増やしてもらいたいと感じた。

(匿名希望)

■ 特許訴訟については今色々話題になっています。この前の青色LED訴訟でも、企業で役員とか役職の高い人は「同意できない」という傾向にあるが、あまり役職の高くない人は「同意できる」という見解で分かれています。つまり、企業からどういう扱いを受けたかで見方が違ってくるのではないかと思います。

(松田昭信)

■ 「米国における特許訴訟について」: 訴訟額やCAFCのことなど、参考になりました。

(青山正人)

■ 「日本のIT事情: 昨日, 今日, そして明日」を読んで私もチョット一言。目まぐるしく移り変わる潮流を一步下がって見てみると、いろんなことが見えてくる。この記事を読んで感じたことは、IT利用が「線から面に」、私(企業システム)から公(社会システム)に、「IT技術からIT文化に」やっと変わりつつあることを実感。マーケットライフサイクルから言えば成長期に入ってきたところって感じかもしれない。しかし問題は、情報所有権の議論など内面的議論がまだ社会全般に遅れており、外面は大人でも内面が子供という状況ではないだろうか。当会の活動も学会内から社会活動にスコープを広げ、社会を牽引していく時期かもしれないと感じています。

(北村和彦)

■ 「20世紀の名著名論」: 入手しにくい論文がありますが、それでも図書館を最大限利用すれば、入手可能なものが多く、とても参考になります。「情報技術と教育」: 学生を見ていると、分厚い教科書を読みながらではなく、論理的な文章を読めないのではないか、と思います。「読みながら」のではなく、「読み方を知らないで、読めない」のです。しかし、だからといって、図表がちりばめられた「見栄えのする」教科書を使っているのは、JABEEで要求される「日本語による理論的

な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力」が涵養されるはずがありません。理論的なコミュニケーションを行うためには、理論的な思考能力を養うことは必須であり、そのための術を考えなければならないと思います。(水野光朗)

その他、コラムや編集系独白などについてのご意見もいただきました。

■ アンケート対象記事ではありませんが、「編集系独白」は毎号楽しみにして一字一句読んでいます。編集長の熱気が伝わってきて、単なる「後記」「寸評」を超えて和田さんの思想が滲み出ていて面白い。一番の連載記事です。(岡田昌康)

■ 情報技術を利用した文書保存技術についての研究報告を期待します。具体的には、紙の保存限界、磁気情報の保存限界、色の復元技術など文書情報保存の課題は多岐に渡るとは思います。それらを体系的に知りたい。(北村和彦)

■ Semantic Webの現状についての解説記事を今後できればお願いしたい。(森谷俊洋)

■ Webリッチクライアントについて特集をお願いします。(匿名希望)

■ IETFの標準化状況について知りたい。(匿名希望)

会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

【本欄担当 田中貴秋、鈴木 貢/書評・ニュース分野】

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
 - ・記事テーマの提案
 - ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
 - ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言
- など、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>

でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomienq/enq4505.html>

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記Webページにも掲載しております。
<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> (読者からの声)



IP SJ カレンダー

行事名	開催日	会場
第 49 回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO49.html	2004/5/18 (火) ~ 2004/5/19 (水)	化学会館会議室
情報処理学会 第 47 回通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/rjikai_sohkai/soukai/2004-tujoyo47.html	2004/5/20 (木)	学士会館
第 52 回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/GN52.html	2004/5/20 (木)	化学会館会議室 (御茶ノ水)
第 25 回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CSEC25.html	2004/5/21 (金)	ソニー・コンピュータ エンタテインメント
第 108 回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HI108.html	2004/5/21 (金)	東京農工大学工学部
第 88 回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS88.html	2004/5/21 (金)	名桜大学
第 95 回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/AL95.html	2004/5/21(金)	九州大学ベンチャービジネスラ ボラトリ
北海道支部「支部 20 周年記念シンポジウム」開催案内 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html	2004/5/24 (月)	北海道大学学術交流会館
北海道支部「情報処理北海道シンポジウム 2004- Info-Hokkaido2004」開催案内 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html	2004/5/24 (月) ~ 2004/5/25 (火)	北海道大学学術交流会館
第 11 回高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/QAI11.html	2004/5/26 (水)	福島県磐梯熱海温泉清稜山 倶楽部
先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS 2004 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SACSIS2004.html	2004/5/26 (水) ~ 2004/5/28 (金)	札幌コンベンションセンター
第 115 回システム LSI 設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SLDM115.html	2004/5/27 (木) ~ 2004/5/28 (金)	松下電器 (株) パナヒルズ大阪
第 51 回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SLP51.html	2004/5/27 (木) ~ 2004/5/28 (金)	山形大学
第 44 回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DD44.html	2004/5/28 (金)	東京電機大学 (神田キャンパス)
第 62 回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CH62.html	2004/5/28 (金)	龍谷大学 瀬田キャンパス
第 17 回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ITS17.html	2004/5/28 (金)	横須賀リサーチパーク
第 118 回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DPS118.html	2004/6/3 (木) ~ 2004/6/4 (金)	山梨大学情報メディア館
第 9 回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EVA9.html	2004/6/11 (金)	東京農工大学
第 12 回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/GI12.html	2004/6/18 (金)	九州工業大学
連続セミナー 2004 第 1 回「Web コントロール技術」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/	2004/6/22 (火)	工学院大学 新宿キャンパス
The 7th International Conference on High Performance Computing and Grid in Asia Pacific Region	2004/7/20 (火) ~ 2004/7/22 (木)	大宮ソニックシティ
連続セミナー 2004 第 2 回「spam 撃退術」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/	2004/7/21 (水)	東京電機大学 神田キャンパス
夏のプログラミング・シンポジウム 「アツと驚くプログラミング ~ Hacker's delight ~」 http://www.logos.ic.u-tokyo.ac.jp/prosym04/	2004/8/22 (日) ~ 2004/8/24 (火)	KKR はこだて (函館市)
FIT2004 第 3 回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2004/index.html	2004/9/7 (火) ~ 2004/9/9 (木)	同志社大学 京田辺キャンパス
連続セミナー 2004 第 3 回「ガーベジコレクション技術の基礎」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/	2004/9/28 (火)	東京電機大学 神田キャンパス
連続セミナー 2004 第 4 回「地球シミュレーター」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/	2004/10/29 (金)	東京電機大学 神田キャンパス
連続セミナー 2004 第 5 回「ヒューマノイド技術最前線」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/	2004/11/2 (火)	東京電機大学 神田キャンパス
連続セミナー 2004 第 6 回「IC タグ」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/	2004/12/17 (金)	東京電機大学 神田キャンパス
The 2005 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2005) http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/kokusai/saint/index.html	2005/1/31 (月) ~ 2005/2/4 (金)	Trento, ITALY
第 67 回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/67kai/index.html	2005/3/2 (水) ~ 2005/3/4 (金)	電気通信大学

行事名	論文応募締切日	会場
第 26 回コンピュータセキュリティ発表会 (2004/7/20-21 開催) 発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CSEC26.html	2004/5/20 (木)	徳島大学工学部
第 136 回知能と複雑系研究発表会 (2004/8/5-6 開催) 発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ICS136.html	2004/5/21 (金)	ホテルメゾン軽井沢

行事名	論文応募締切日	会場
第 89 回情報システムと社会環境研発表研究会 (2004/8/26 開催) 発表論文募 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS89.html	2004/5/28 (金)	化学会館会議室 (御茶ノ水)
第 34 回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 (2004/7/30 開催) 発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM34.html	2004/5/28 (金)	大阪大学豊中キャンパス
夏のプログラミング・シンポジウム 「アッと驚くプログラミング～Hacker's delight～」 http://www.logos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/prosym04/	2004/6/4 (金)	KKR はこだて (函館市)
論文誌「情報システム論文」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/is.html	2004/6/15 (火)	
論文誌「オープンソース時代の分散システム/インターネットの構築・ 運用技術」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/dsm.html	2004/6/25 (金)	
九州支部「電気関係学会連合大会」(2004/07/27-28 開催) 講演論文募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html	2004/7/1 (木)～2004/7/20 (火) 鹿児島大学	鹿児島大学
第 13 回高品質インターネット研究発表会 (2004/10/28-29 開催予定) 発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/QAI13.html	2004/8/20 (金)	産業技術総合研究所
論文誌「産学連携論文」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/si01.html	2004/8/31 (火)	
論文誌「社会人学生論文」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/si02.html	2004/8/31 (火)	
FIT2004 第 3 回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2004/index.html	2004/9/7 (火)～2004/9/9 (木)	同志社大学 (京田辺キャンパス)
SAINT2005 2005 年インターネット応用国際会議 http://www.saint2005.org/	2005/1/31 (月)～2005/2/4 (金)	イタリア (トレント)

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 4月16日 Web教材制作の公募のお知らせ
- 4月15日 JSTからの委託により作成した「Webラーニングプラザ」の教材(情報ネットワーク)が公開されました
- 4月8日 連続セミナー2004参加申込受付開始
- 3月15日 FIT2004講演申込受付中

[学会からのお知らせ]

- 4月20日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新いたしました
- 4月14日 電子図書館をBookParkに移行しました
- 4月8日 平成16年度代表会員名簿
- 4月8日 第47回通常総会のご案内
- 3月29日 第494回理事会報告
- 3月23日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新いたしました

第47回通常総会の開催について

会長 益田隆司

第47回通常総会を代表会員制度に沿って下記により開催いたします。

総会の案内状は、民法上の社員である、選挙で選出された代表会員および役員に4月に郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

総会の議事議決権は代表会員および役員が有しますが、もちろん代表会員以外の正会員・名誉会員の皆様も、積極的に総会に出席してご発言いただきますようお願いいたします。

記

日 時 平成16年5月20日(木) 16:00～18:00
会 場 学士会館(東京都千代田区神田錦町3-28)
議 案 1. 平成15年度事業報告および決算報告について
2. 平成16年度事業計画および予算について
3. 会費滞納会員の取扱いについて
4. 名誉会員の推挙について
5. 平成16年度役員改選について
6. 他、表彰等

※総会終了後、懇親会(有料)を行います。皆さまのご出席をお待ちしております。

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 20,000 円（+税）
賛助会員（企業） 30,000 円（ 〃 ）
賛助会員以外の企業 50,000 円（ 〃 ）

申 込 先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
*人材募集広告は会誌と同時にオーム社発行月刊誌「コンピュータ&ネットワーク LAN」にも掲載されます（料金の追加はありません）。ただしオーム社側の掲載については字数などの関係から大幅に編集されることをご了承ください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■同志社高等学校情報科

募集人員 専任教員 1 名
応募資格 4 年生大学を卒業、または平成 17 年 3 月卒業見込みの方で、高等学校教諭免許状「情報」、および「情報」以外の教科の免許状を取得または平成 17 年 3 月取得見込みの方（「情報」以外の教科の免許状については採用後の取得も可）。同志社建学の精神に理解のある方（クリスチャンであることが望ましい）。平成 17 年 4 月 1 日現在、満 27 歳以下の方が望ましい

着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
応募締切 平成 16 年 5 月 21 日午後 4 時（必着）
照 会 先 〒 606-8558 京都府京都市左京区岩倉大鷲町 89 同志社高等学校 Tel(075)781-7121
提出書類・採用試験など詳細は Web ページ <http://www.high.doshisha.ac.jp>

■理化学研究所

募集人員 基礎科学特別研究員 60 名程度
募集分野 物理学、化学、生物科学、医科学、工学の各分野で、理化学研究所で実施可能な研究
応募資格 平成 17 年 4 月 1 日現在 35 歳未満で、自然科学の博士号取得者またはこれと同等の能力を有すると認められる方
*日本国に永住権を有さない外国人にあつては上記に加え、次の条件を満たす方：応募日現在に日本国に在住している方、日本国の大学院博士課程を修了（見込みを含む）し、博士号を取得（見込みを含む）している方

着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
提出書類 応募要項頒布開始は 4 月上旬予定。応募要項の請求は下記 Fax または E-mail へ（1）郵便番号（2）住所（3）氏名（漢字）（4）氏名（カタカナ）を記入し、送信すること *要項代は無料
応募締切 平成 16 年 5 月 31 日（必着）
送付先/照会先 〒 351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1 理化学研究所研究調整部研究交流課 基礎科学特別研究員担当
E-mail:wakate@riken.jp Tel(048)467-9268（直通） Fax(048)463-3687

そ の 他 契約期間：連続して最長 3 年間で限度とし、毎年度所要の評価により契約更新
待遇など：（平成 15 年度実績）謝金-月額 50 万円（社会保険料、税込） 通勤費-実費（上限 4 万 5 千円/月）
住宅費-家賃の一部支給 研究費-130 万円/年
本件は当研究所の予算の成立を前提としており、その事情により変更があり得る

■広島大学大学院先端物質科学研究科

募集人員 助手 1 名（任期：7 年間、再任する場合は 5 年間）
研究分野 集積回路（低電圧アナログ回路、RF 回路など）のアーキテクチャおよび回路設計、評価の研究補助およびテーマの推進。21 世紀 COE「テラビット情報ナノエレクトロニクス」の研究補助

教育担当 半導体集積科学専攻における教育補助と工学部第二类電気電子工学実験など。VDEC 関連共同利用 VLSI 試験設備の運用
応募資格 博士の学位を有するか、それと同等の学識・経験を有するもの
着任時期 平成 16 年 9 月 1 日以前のできるだけ早い時期
提出書類 表紙の記載事項（公募番号（ADSM-3）・氏名・連絡方法）、履歴書、業績リスト（論文・著書・特許など）、主要論文別刷（学位論文を含む）、着任後の研究および教育についての抱負（2000 字以内）、特筆すべきこと
応募締切 平成 16 年 6 月 18 日午後 5 時（必着）
送 付 先 〒 739-8530 広島県東広島市鏡山 1-3-1 広島大学大学院先端物質科学研究科 研究科長 遠藤一太
照 会 先 先端物質科学研究科 岩田 穆 E-mail:iwa@dsl.hiroshima-u.ac.jp <http://www.adsm.hiroshima-u.ac.jp/>
そ の 他 選考方法：書面審査、面接

■豊橋技術科学大学情報工学系

募集人員 助手 1名
 専門分野 知能学習, データベース・検索など
 着任時期 平成16年11月1日
 応募締切 平成16年6月30日(必着)
 照会先 〒441-8580 豊橋技術科学大学情報工学系 教授 青野雅樹 E-mail:aono@ics.tut.ac.jp Tel(0532)44-6764
 その他 詳細は, <http://jrecin.jst.go.jp> 参照のこと

■理化学研究所情報基盤センター

募集人員 技師 1名
 専門分野 不正アクセスの検知と日常的な対策, ウィルス対策, ログ管理など, セキュリティに関する実務経験を有するネットワーク技術者
 応募資格 ネットワークとセキュリティ分野の知識と意欲のある方
 着任時期 平成16年10月1日(予定)
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 実務経験詳細, 推薦書(理事長宛), 成績証明書, 卒業証明書, 学位取得の場合学位証明書, 着任後の抱負
 応募締切 平成16年6月30日(必着)
 送付先 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 独立行政法人理化学研究所情報基盤センター センター長 姫野龍太郎
 「応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 情報基盤センター 鈴木富男 E-mail:suzuki@riken.jp Tel(048)467-9322
 照会先 詳細は <http://www.riken.jp/> の人材募集参照のこと
 その他

■立命館大学理工学部電子情報デザイン学科

募集人員 教授または助教授または専任講師 1名
 専門分野 組み込みシステム・ハード/ソフトコデザイン, 高性能実装・システム評価, 高周波集積回路・アナログ集積回路, 集積デバイス・センサ工学
 応募資格 着任時に博士の学位を有し50歳以下が望ましい
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(論文誌, 査読付き会議, 査読なし会議, 特許の区別をすること), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), 教育についての抱負(2000字以内), 研究についての抱負(2000字以内) *健康診断書の提出は不要ですが, 採用決定までに立命館大学保健センターの健康診断を受けていただきます
 応募締切 平成16年6月30日(必着)
 送付先 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学理工学部電子情報デザイン学科 学科長 寺井秀一
 「教員応募書類」と朱書き簡易書留. また, 応募書類の返送先を明記してください
 照会先 電子情報デザイン学科 教授 山内寛紀 E-mail:yamauchi@se.ritsumei.ac.jp Tel(077)561-2867

■秋田大学工学資源学部情報工学科

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 コンピュータネットワーク, 分散オペレーティングシステム, 知能情報処理, グリッドコンピューティング, ユビキタス情報通信環境
 担当科目 プログラミング言語, システムソフトウェア, コンピュータ演習
 応募資格 博士の学位を有する, または着任までに取得見込みの方で, 上記専門分野の研究業績があり, 大学院博士後期課程が担当できる方, 着任時に40歳程度以下で, ソフトウェア分野での実務経験を持つ方が望ましい
 着任時期 採用決定後なるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, これまでの研究概要と今後の研究計画, 大学・企業などでの活動状況, 教育研究指導に関する抱負, 本人について照会できる方2名の連絡先(詳細は下記Webページ参照)
 応募締切 平成16年7月15日(必着)
 送付先/照会先 〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1 秋田大学工学資源学部情報工学科 学科長 行松健一
 E-mail:yukimatu@ie.akita-u.ac.jp Tel(018)889-2778 Fax(018)831-0428
 情報工学科 Web ページ <http://www.ie.akita-u.ac.jp/index.html>

■青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科

募集人員 助教授もしくは教授 1名
 専門分野 ソフトウェアに重点をおいた情報科学・工学分野またはロボットなどソフトウェアとハードウェアを融合した研究分野
 担当科目 情報数学、プログラミング実習など
 応募資格 着任時期に43歳以下であること。博士の学位を有し、情報テクノロジーに関する教育・研究に熱意を持っていること。専門分野の業績を有し、日本語に堪能であること。キリスト教について十分な理解があること
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書（市販用紙使用、連絡先にE-mailアドレスも含めること）、研究業績リスト（著書、学会誌掲載の査読のある研究論文、学会誌掲載の解説論文、国際会議論文、口頭発表に伴う学会論文集掲載論文などに分類のこと）、主要論文別刷（5編以内、コピー可）、これまでの研究の概要（A4用紙2枚程度）、今後の研究計画（A4用紙2枚程度）、教育に対する抱負（A4用紙1枚程度）、本人に関する所見を伺える方2名の氏名および連絡先 *応募書類は返却いたしません
 応募締切 平成16年7月16日（必着）
 送付先／照会先 〒229-8558 神奈川県相模原市淵野辺5-10-1 青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科 主任 原田 実
 E-mail:harada@it.aoyama.ac.jp Tel(042)759-6321 Fax(042)759-6495 「情報テクノロジー学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留

■山形大学工学部情報科学科

募集人員 助教授 1名
 所属 情報メディア科学講座
 専門分野 (次のいずれかの分野)：情報通信(情報ネットワーク、マルチメディア通信)、ハードウェア(計算機アーキテクチャ、量子コンピュータ、ハード/ソフト協調設計、システムLSI設計)、コンピュータ応用(計算科学、数値シミュレーション、マルチメディア、CG、社会情報、ヒューマンインタフェース)
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野に業績があり大学院の研究指導ができる方。専門分野および情報基礎科目に関する講義を担当できる方
 着任時期 平成16年10月1日以降のなるべく早い時期
 提出書類 履歴書(所属学会名記載)、研究業績リスト(研究論文、速報、国際会議発表論文、著書、解説論文、特許などに分けて記載)、研究・教育活動概要(これまでの研究・教育内容と自己評価、主要論文別刷(数編以内、コピー可)、また、これまでに学会・国際会議で就任の委員・役員などがあれば、その役職名)、着任後の教育・研究に対する抱負(1000字程度)、応募者について所見をいただける2名の方の推薦状または氏名と連絡先
 応募締切 平成16年7月30日
 送付先 〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16 山形大学工学部情報科学科 学科長 後藤源助 「教官応募書類在中」と朱書き簡易書留
 照会先 情報科学科情報メディア科学講座 田村安孝 E-mail:tamra@yz.yamagata-u.ac.jp Tel(0238)26-3321 Fax(0238)26-3299

■山口東京理科大学基礎工学部電子・情報工学科

募集人員 教授または助教授 2名
 専門分野 (1)制御システム系 1名 (2)情報システム系 1名
 担当予定科目 (1)制御システム系教員：制御工学、制御システム工学、ロボット工学、電子工学実験などの学部の講義、実験および大学院の講義 (2)情報システム系教員：ソフトウェア工学、アルゴリズム論、データベース論、プログラミング実習などの学部の講義、実習および大学院の講義
 応募資格 博士の学位を有し、年齢は50歳前後が望ましい
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(査読付き論文、査読付きプロシーディング、特許、論文、著書、学会講演論文の順に記載)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、教育への抱負(1000字程度)、今後の研究計画(1000字程度)、推薦書1通、推薦者以外に応募者についての所見を求め得る方1名の氏名・連絡先(E-mail)
 応募締切 平成16年7月31日(必着)
 送付先／照会先 〒756-0884 山口県小野田市大学通1-1-1 山口東京理科大学基礎工学部電子・情報工学科 学科主任 清水 大
 E-mail:dais@ed.yama.tus.ac.jp Tel/Fax(0836)88-4545

■産業技術総合研究所生命情報科学研究センター (CBRC)

募集人員	産総研特別研究員 (ポスドク), テクニカルスタッフ それぞれ若干名 (適任者を随時採用)
専門分野	応募資格を参照のこと
応募資格	ポスドク: タイプ1 - 生命情報科学 (バイオインフォマティクス) の研究経験がある博士号既得者. かつ将来当分野の研究リーダーとなるために必要な素養を身に付けることを目的としながら, 当研究センターで研究を行う方. タイプ2 - バイオインフォマティクスの研究経験不問. 他の分野で優れた研究経験があり, 分野を転向して生命情報科学の研究に従事する熱意のある方 テクニカルスタッフ: タイプ1 - 30歳未満で生物系, 理学系, 工学系大学・修士卒以上. バイオインフォマティクスの研究経験があること. タイプ2 - 高度なプログラミングのスキルを持ち, バイオインフォマティクスの研究現場で研究者と協調してソフトウェア開発を行える方. 35歳程度まで
着任時期	応相談
提出書類	履歴書, 研究業績リスト, 志望動機
応募締切	締切はなく, 通年募集
送付先/照会先	E-mail: info@cbrc.jp (Eメールにてのみ受付. 上記提出書類をテキスト形式にて送信)
その他	ポスドク: 時給 1,900 ~ 3,000 円 (委細面談). 任期は原則 2 年 (特段の場合 3 年に延長) テクニカルスタッフ: 時給 1,700 ~ 3,000 円 (委細面談). 任期更新制

ACM・IEEE・IEEE-CS の会費割引特典について

各学協会との協定により, 本会会員の会費が割引になります (本会 Web ページ: <http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照). 会員の皆様におかれましては大いに特典を活用していただき, 学術・技術の向上にお役立てください. なお, 入会申込み等詳細につきましては各事務局に直接お問い合わせください.

1. ACM (Association for Computing Machinery) <http://www.acm.org/>
正会員 (Voting Member) 会費を 20% 割引
2. IEEE (The Institute of Electrical and Electronic Engineers, Inc.) <http://www.ieee.org/>
IEEE-CS (IEEE Computer Society) <http://computer.org/>
Full Member (IEEE および IEEE + IEEE-CS の会員) の会費を 10% 割引

【照会/入会申込先】

◆ ACM 日本事務局

〒107-0062 東京都港区南青山 5-10-5 九曜ビル 903
Tel (03)5466-1761 Fax (03)5466-1762

◆ IEEE 東京支部

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-6-2 ツカサビル 6F
Tel (03)5776-7670 Fax (03)5776-7671

◆ IEEE-CS アジア・パシフィック・オフィス

〒107-0062 東京都港区南青山 1-4-2 南青山渡辺ビル 6F
Tel (03)3408-3118 Fax (03)3408-3553

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ 講演会、講習会などの論文募集・参加者募集 に限る。	1 ページ、	(主催・共催)
		1/2 ページまたは	1 ページ 52,500 円
		1/4 ページ	1/2 ページ 31,500 円
			1/4 ページ 21,000 円
			(協賛) 広告として取り扱う
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	(国公立教育機関、国公立研究機関) 21,000 円
			(賛助会員（企業）) 31,500 円
			(賛助会員以外の企業) 52,500 円

■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

●行事次第書：

A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。

(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm

(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm

(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm

* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

●人材募集：

次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。

[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]

*なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

(社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

昨年9月のことになりますが、ISO/IEC JTC 1/SC 29が“the Lawrence D. Eicher leadership award”を受賞しました。2003年3月にISO Councilで創設されたこの賞は「創造性に卓越し、革新的な標準開発」をした委員会に対してISOが授与するもので、SC 29が最初に受賞委員会となりました。ISOには、550もの委員会があるので、とても栄誉なことといえるでしょう。SC 29について補足しますと、傘下にWG 1 (JPEG), WG 11 (MPEG) を持つ委員会です。WG 12 (MHEG) もありましたが、3年前に解散しました。受賞は、日本がSC 29の議長、国際幹事 (IPSI/ITSCJ) を務めていることから、まるで日本の手柄のように扱われ、ISO 総会当日まで情報を漏らさないようにと、METI やJSAの方のお達しがありました。受賞理由からすると、日本だけではなく、JPEG, MPEGの皆さんが10数年間、頑張っていたことに対する受賞であることが明らかでした。本来ならば、WG 1, WG 11 コンビーナを始め、実際にJPEG, MPEGを引っ張ってきた皆さんが受賞の喜びを分かち合うべきだったのに、うやむやのまま終わってしまったことを残念に思っています。

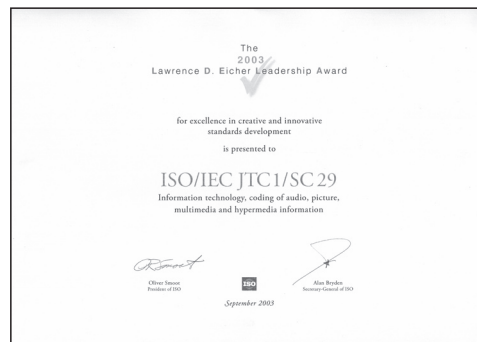
最近のJPEG, MPEGですが、ここ数年変わらず、WG 1は年3回、WG 11は年4回会合が開催され、WG 1 (JPEG) で60~70人前後、WG 11 (MPEG) で300人前後の技術者が参加しています。「後数年で収束する」といううわさをよく聞くのですが、扱っているプロジェクト数や、新規追加プロジェクト数からして、まだ解散しそうもありません。JPEG, MPEG合わせて、90件ほど出版されていない

プロジェクト (IS, Amendment) があります。

JPEGはJPEG 2000の主要部分の標準化が終わり、落ち着いてきましたが、MPEGは数年前の1.5倍になっており、怒涛のごとく、標準を作り続けています。年4回の会ごとに280前後の寄書が提出され、40前後のプロジェクトが次の投票段階に進んだり、新規に始まったりしています。先月のMPEG会合で、新しいMPEGプロジェクトが誕生しました。「MPEG-1, -2, -4, -7, -21, 次はいったい何だ?」という話題をよく聞きましたが、あっさり、「MPEG-A」でした。

JPEG, MPEGの技術的内容に興味のある方は、それぞれ公式web siteがありますのでご覧ください。また、会合の様子は(勝手に紹介してしまってよいか分かりませんが)、裏MPEGサイト (<http://www.it-aru.com/mpeg/MPEG.html>) をご覧になるとよく分かります。

(小倉由紀子/規格部門)



Eicher Award表彰状

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	edit@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム
国際	intl@ipsj.or.jp		国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図書	tosh@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

書評・会議レポート募集のお知らせ

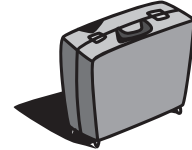
情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- 書評：過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- 会議レポート：情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



3. 応募の手続き

- 表題：書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 評者名（会議レポートの場合は筆者名）・所属・評者連絡先（住所、E-mail、Faxなど）の記載を忘れずに。
- 本文：書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- （必要であれば）参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆案内」（<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>）を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会／応募先 （社）情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

情報処理学会からののお知らせ

情報処理学会電子図書館は BookPark に 移行しました

まずはユーザ登録を！

<http://www.bookpark.ne.jp/ipsj/>

BookParkに情報処理学会発行の出版物(会誌、論文誌、研究報告、欧文誌、英文誌)が載りました。創刊号から最新号まですべてのデータを収蔵。

情報処理学会会員の方は、無料*で閲覧することができます。

*BookParkで新たにユーザ登録を行っていただく必要があります。

*該当する出版物を購読されている方に限ります。また、会員の方でも会費や購読費が未納の場合、有料となる場合があります。

一般の方でも1編から購入することができますので、ぜひご利用ください。



IT Text コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著
A5判／280頁／2003年11月発行



好評既刊書

IT Text コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判／216頁／本体2,500円(税別)

IT Text 音声認識システム

鹿野清宏・伊藤克巨・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判／216頁／CD-ROM付／本体3,500円(税別)



IT Text エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判／226頁／本体2,800円(税別)

IT Text ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判／240頁／本体2,800円(税別)

IT Text オペレーティングシステム

野口健一郎 著
A5判／240頁／本体2,800円(税別)

IT Text データベース

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
A5判／196頁／本体2,500円(税別)

IT Text ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判／228頁／本体2,800円(税別)

IT Text 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著
A5判／248頁／本体2,800円(税別)

IT Text 認知インタフェース

加藤 隆 著
A5判／248頁／本体2,800円(税別)

IT Text プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判／210頁／本体2,800円(税別)

IT Text 情報と職業

駒谷昇一・辰己丈夫・楠元範明 共著
A5判／232頁／本体2,500円(税別)

IT Text アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判／242頁／本体2,800円(税別)

IT Text ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判／224頁／本体2,800円(税別)

IT Text 基礎Web技術

松下 温 監修／市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判／200頁／本体2,500円(税別)

IT Text 知識マネジメント

大澤幸生 編著
A5判／232頁／本体2,800円(税別)

IT Text 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判／280頁／本体3,000円(税別)



会員サービスのご案内

会員の皆様の特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします(本会 Web ページ: <http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照)。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門(E-mail: mem@ipsj.or.jp)までお寄せください。

ご意見をお寄せください！

[6月10日頃までにお出しく下さい]

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからでも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4505.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 9-
10. 今月号 (2004年5月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

特集：システムレベルデザイン

システムレベルデザインに向けて	10-1-
システムレベル設計フローと設計言語	10-2-
システムのモデル化と計算モデル	10-3-
動作合成技術の動向	10-4-
アサーションベース検証	10-5-
ハードウェア/ソフトウェア協調シミュレーション技術	10-6-
低消費電力化設計と消費電力見積り	10-7-
正確な学習よりも得する学習	10-8-
スマートタグ：Auto-ID ラボとその活動	10-9-
裸眼立体視技術の最新動向	10-10-
インターネット生活向上委員会：Wiki で情報共有	10-11-
SQL の 20 年と現状および今後の展開 (前編)	10-12-
電子政府実現に向けての欧州の取り組み	10-13-
プログラム・ブロンナード：トランプの 1 人遊び	10-14-
20 世紀の名著名論：J. W. Goodman, F. J. Leonberger, S.-Y. Kung and R. A. Athale: Optical Interconnections for VLSI Systems	10-15-
20 世紀の名著名論：Zvi Kohavi: Switching and Finite Automata Theory	10-16-
日本の IT 事情：協創時代の知識経営に	10-17-
アメリカ IT まわりの話題：セマンティック Web は Next Big Thing ?	10-18-
情報技術と教育：情報技術でオープン化する教育	10-19-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問・今後取り上げて欲しいテーマ・また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

今回の特集、「システムレベルデザイン」と題されているが、その肝の1つはいわゆるコデザインと呼ばれる技術である。コデザインとなると、お決まりのようにハードウェアとソフトウェアの開発プロセスの差が論じられ、やれハードが揃わないうちにソフトの品質を確保するためにシミュレーション技術が大事だとか、やれソフトとハードの機能の切り分けが難しいだとか、そういった議論に落ち着きやすい。

だがそもそもハードウェアとソフトウェアを区別することの意味がなくなっているのではないかとも思える。たとえば1サイク

ルでロジックの書き換えが可能なりコンフィギュラブルチップは、もはや従来でいうところのハードウェアではなくなっている。私人はソフトウェア畑の人間であるので、どうしてもソフト寄りに物事を考えてしまうのだが、ハードウェア畑の人間にしてみれば、すでにソフトウェアはハードウェアの一機能でしかなくなっているという認識なのかもしれない。

本特集がソフトウェア技術者とハードウェア技術者の垣根を取り去る一助となれば幸いである。

(片岡欣夫/本特集エディタ)

次号 (6月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」 自然言語による情報アクセス技術

情報抽出-情報を整理して提示する-/言語横断検索/ Web 検索/要約/ QA による検索

解 説

SQL の 20 年と現状および今後の展開 (後編)	土田正士
インターネットトラフィック解析の動向	福田健介
情報産業におけるブランドによる技術保護方策	中野 潔
安全なプログラミングの機構	五十嵐淳
情報技術を利用した物理的セキュリティの現状	池野修一
Weblog の現状と展望: セマンティック Web およびソーシャルネットワークワーキングのプラットフォームとして ..	武田英明 他
コミュニティ通貨による新しい価値交換システムの動向	木戸邦彦

連 載 スマートタグ/プログラム・プロムナード

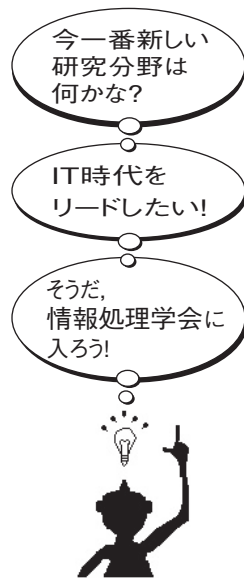
コラム アメリカ IT まわりの話題/インターネット生活向上委員会/情報技術と教育/地域社会と IT / 20 世紀の名著名論/日本の IT 事情

会員募集中!!

**ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、
あなたのお役に立ちます。**

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

℞ <学術著作権協会依託>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo
107-0052, Japan
E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp
Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA
Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744
<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A4 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A4 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。